

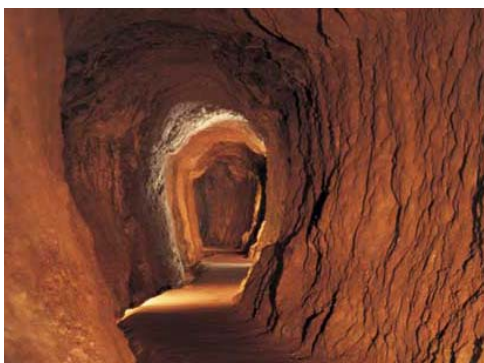
山陰・島根ジオパーク ジンボジウム

ジオパークとは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園です。ジオパークでは、その地質遺産を保全し、地球科学の普及に利用し、さらに地質遺産を観光の対象とするジオツーリズムを通じて地域社会の活性化をめざします。2001年6月のユネスコ執行委員会で、ユネスコが地質学的に特別意義のある地域や自然公園の発展を推進するメンバー国の努力を支援することが勧告され、以来ジオパークはユネスコの支援の下、世界各国で推進されています。2004年には世界ジオパークネットワークがユネスコの支援により設立され、現在では53箇所のジオパークが参加基準を満たすジオパークとしてネットワークに参加しています。

山陰・島根の地域には今年世界遺産登録された石見銀山をはじめ、ラムサール条約に登録された中海・宍道湖、三瓶山、隠岐島前・島後など多くの地質遺産があります。また、隠岐島前カルデラは石見銀山とともに日本列島ジオサイト地質百選に選定されています。このように山陰・島根地域には日本だけでなく、世界的にみても重要な意味をもつ世界の財産ともいえるべき地質遺産が多数存在します。

平成19年度島根大学萌芽研究:石見銀山をはじめとする山陰地域地質資源の総合資源化に関する研究(代表者:赤坂正秀 総合理工学部教授)では、山陰・島根地域にあるこれらの地質遺産を研究・教育および地域振興の観点から「総合資源」として位置づけ、産官学が連携して総合的に利用することをめざす研究を行っています。この萌芽研究では、山陰・島根地域が世界ジオパーク・ネットワークに加盟し、これらの地質遺産を保護し、教育・普及活動を行うとともに、ジオツーリズム(地質遺産を観光の対象とする)などを通じて地域の持続可能な社会・経済発展を育成することをめざしています。

今回のシンポジウムでは、基調講演として、渡辺真人氏(産総研)に、ジオパーク(地質遺産)とはどんなものか、ユネスコの支援のもとに組織されている世界ジオパーク・ネットワークについて、また国内でのジオパーク構想の動向などについて解説していただきます。さらに、赤坂正秀氏(島根大学教授)・中村唯史氏(三瓶自然館サヒメル)・澤田順弘氏(島根大学教授)らによる山陰・島根地域の代表的な地質遺産(石見銀山、三瓶山、中海・宍道湖、隠岐島前・島後等)の紹介をしていただきます。このシンポジウムが産官学一体となった山陰・島根ジオパーク構想を進める契機となることを期待しています。



石見銀山龍源寺間歩(大田市石見銀山HPより)



隠岐島前摩天崖(西ノ島町HPより)

プログラム

日程：12月21日（金）13:30-17:00

会場：島根大学総合理工学部3号館多目的ホール

主催：島根大学萌芽研究プロジェクト「石見銀山をはじめとする山陰地域地質資源の総合資源化に関する研究」（代表者：島根大学総合理工学部教授 赤坂正秀）
島根大学

シンポジウム：

- 13:30-13:35 挨拶・・・高安克己（島根大学副学長）
- 13:35-13:45 シンポジウムの趣旨説明・・・赤坂正秀（島根大学総合理工学部・教授）
- 13:45-14:35 ジオパーク - ジオと人の歴史から未来を考える場 -
・・・渡辺真人（産業技術総合研究所）
- 14:35-15:00 山陰・島根の地質遺産（1）石見銀山をはじめとする地質資源
・・・赤坂正秀（島根大学総合理工学部・教授）
- 15:00-15:15 コメント 資源開発が環境に及ぼした影響 石見銀山での「環境配慮」
をどのように実証するか
・・・片山裕之（島根大学名誉教授）
- 休憩
- 15:25-15:50 山陰・島根の地質遺産（2）三瓶山と中海・宍道湖
・・・中村唯史（三瓶自然博物館）
- 15:50-16:05 コメント 地質遺産を通じた地域への教育と情報の発信について
・・・坪田智行（島根大学教育学部・大学院）
伊藤麻由佳（島根大学教育学部・大学院）
佐藤大介（島根大学教育学部・学生）
- 16:05-16:30 山陰・島根の地質遺産（3）隠岐島前・島後
・・・澤田順弘（島根大学総合理工学部・教授）
- 16:30-16:55 総合討論
- 16:55-17:00 閉会の辞・・・赤坂正秀（島根大学総合理工学部・教授）

問い合わせ：赤坂正秀（島根大学総合理工学部）

TEL/FAX 0852-32-6455

Email akasaka@riko.shimane-u.ac.jp